

第35号

発行 丸橋歯科「良い歯の会」
発行所 群馬県高崎市栄町21-1
TEL 027-323-9524
FAX 027-322-3139
http://www.maruhashi.com/
E-mail:maruhashi.s@cb.wakwak.com

医・農・智

無機から有機へ
裸り返す 光年の 輪廻
自然治療の システム
母なる力 いのちの力

(仁志)

「良い歯の会」機関紙

いのち

よく見える目を持ち
自由な視点を貫く

「良い歯の会」主宰 丸橋 賢



写真：イートン校の中庭を燕尾服を着て歩く学生

大方の人びとは、時流に左右され
て物を考えます。その目に映る光景
は、時流によって作られたものです。
自己の外なるものに依って見たり考
えたりし、目先の狭い利害や人間
関係によって、生きる人間、それを
私は大衆、又は通俗と定義していま
す。そこには固有のその人は見られ
ません。そこから真実を見出す目も、
新しい世界観も生れることは決して
ないのです。

周囲によって曇ることのない目を
持つ、それが個人です。私は確立し
た個人を大切にし、そのリーダシ
ップを重んじた文化を形成しなけれ
ば、人間社会はもたないと考えてき
ました。歴史は大きな誤りを多くし、
究極的には人間の存在を危うくしか
けないと危惧しています。

この考え方は特異なものでも新し
いものでもなく、イギリスをはじめ
とするヨーロッパの考え方、文化の
基本なのです。

イートン校のエリート教
育とイギリスの保守思想

イートンカレッジはイギリスの超
エリート大学です。東大などより狭
き門で、このような大学を出た人材
が政治をはじめ、各界で指導的働き
をすることを求めている、それがイ
ギリスの文化の骨格になっていると
感じられます。

教室、食堂、図書館など、全ての
部屋は中世を思わせる作りで、机も
昔から伝わっている木製です。それ
がきれいに磨かれ、校内にはゴミ一
つ見られません。礼拝堂には壮大な
伝統に輝くパイオルガンがあり、
学生たちは燕尾服様の制服に真白な
シャツにネクタイです。対してアメ
リカの一流大学の様子は全く違いま
す。ラフな服装で、お行儀悪く座り、
歩きながらファーストフードを食べ
ています。

イートン校は、イギリスの保守思
想を象徴していると思えます。保守
思想は、大衆も含め、人間に不幸を
もたらす失敗を少なくするために、
頭脳も考え方も立派なエリートに国
の操縦を託すべきだと考えている
のが特徴です。大衆を信用していな
いのです。固有の判断力や責任力の
弱い大衆に歴史を任せる危険を知っ
ているからです。しかし誤解しては
いけないのです。イギリスの保守思
想は大衆を大切にしているのです。

大多数の大衆に、人間の過ちからく
る不幸をもたらさないために、エリ
ート教育に力を入れ、安定した国を
維持しようとしているのです。大衆
の弱点をよく知り、その欠陥を防ぐ
知恵を大切にしているのが、保守思
想の真髄でしょう。

アメリカの教育観は、教育学者デ
ューイの影響下ににあります。子供が
太陽のように中心に在るべきで、大
人や社会は子供を衛星のように取り
囲み、子供の自由を奔放に生かすべ
きだとするの、デューイの思想で
す。その結果、アメリカの教室では
授業中にスマホやゲームに熱中する
学生も多く、銃撃も時々起ります。
日本の教育もアメリカの影響下にあ
ります。

イギリスの教室では、先生が来る
と私語も消え、時計の音さえ聞こえ
るほどだと聞きました。騒ぐ生徒が
いれば、家庭教育の責任を問われ、
親に引き取らせるのです。要するに、

責任を問うた上で自由を全面的に与
え、国民一人一人の質の向上を目指
すことがイギリスの文化が内に秘め
る強い要請なのです。
日本のように、低きにも弱きにも
文化を低下させて寄り添うという方
向で本当に良いのでしょうか。それ
が本当の優しさだと到底思えませ
ん。優しさごっこはもう止めるべき
だと思ふのです。

日本の政治家の質の低下はひどい
ものです。大衆に迎合し、質の低い
政治家に導かれて行く先には、大き
な失敗が待っているでしょう。

自由な視点に導かれて行く

世塵に曇らない目を保ち、既成概
念に囚われない自由な視点を貫くこ
とが最も大切だという信念で、私は
生きてきました。日本の文化の基軸
に、そのような思想を育てなければ
日本の低俗化は進むばかりだと考
えてきました。

丸橋歯科が辿ってきた治療の質の
向上も、主人歯科医学の構築も全て、
貫き通した私の目と視点の結果だと
思っています。私の視点から見れば、
現在の私たちの治療の質も、全人歯
科医学の構築も、ただの常識にしか
過ぎないのです。私の実感ではそう
なのです。日本の歯科医療で常識の
ように行われている粗末な治療こそ、
私には非常識、非人間的としか受け
止められないのです。

初診の患者さんを百人診れば、そ
の中で、根管治療がきちんとしてあ
る症例は一例も無いといつてよい現
状です。インレーやクラウンも歯と
の適合が粗悪で、隙間が認められる
ようなものばかりで、これでは間も
なくムシバが再発してしまふのは当
然です。まして非常に難しい治療で
ある咬み合わせや、それに絡む矯正
治療など、人間に絶望したくなるほ
どひどい状況です。その結果、歯科

への信頼は失われ、患者さんも歯科
医も苦しむ結果になるばかりなので
す。なぜこんな簡単な問題が改善さ
れないのでしょうか。やはりイギリ
スの保守思想が教える如く、無条件
に人間を許し、信じるのは間違いな
のだとしか考えられません。

せめて客観的な広い情報から
世界を歩いてみると、島国の
日本人が得る情報はかなり狭い
ものだと感じます。中東で、十
字軍以来続いてきた宗教対立、
文明の衝突は今も続いています
が、日本人はその現実も本質も
知り得ません。日本に入つて来
る情報は、ユダヤ系大資本のマ
スコミ配信のものが多く、曲げ
られたものになっています。せ
めて世界に支局をもつ全国紙や
放送局の情報を利用する必要が
あることを痛感します。地方紙
に頼れば、それだけ世界が狭く
なります。日本の民族の低劣さ
も世界に例を見ず、やはり世界
を歩いて見ることは大切です。

今年が良い歯の会の三十五周年。
記念事業を盛大に成功させ、
現状を切り開く力にしてゆきた
いと思います。歯科医療と健康
教室の明日のために是非お力を
お貸し下さい。

35周年特別招待演者紹介

大塚 貢氏
略歴
昭和11年 長野県生まれ
昭和35年 信州大学教育学部卒業
平成9年 真田町教育長
平成18年 上田市教育委員長
平成19年 教育委員長退任
平成21年 文部科学大臣表彰
「瑞至双光章」受賞 現
教育・食育アドバイザー



「良い歯の会」35周年記念事業
命を支える
食と歯
—講演と歯科治療相談の会—
参加無料
特別講演 「未来の子供を育てる食」
35周年記念講演 「健やかな老後を創る食と歯」
治療講演 「歯と食生活」
高崎会場 9月6日(日)
高崎市文化会館大ホール
東京会場 10月18日(日)
御茶ノ水 ソラシテイ